

実務経験のある教員等による授業科目の
授業計画書（シラバス）
《省令で定める単位数等の基準数相当分》

～情報ビジネス科～

科目名	ビジネスマナーⅠ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<p>・授達の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール返信の基礎を指導します。</p>							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本 (実践ビジネスマナー)、電話応対模擬教材、便せん、封筒、切手							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	物事に積極的に関わり取り組む意欲を養う							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画 (全体)	<p>教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返して授業を行います。 応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。</p> <p style="text-align: center;">社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。</p>				特に電話			
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	第1章 社会人としての心構え1 (授達の基本理念・お礼/挨拶・CS思考)							
3~4	第1章 社会人としての心構え2 (報告・連絡・相談) 3							
5~6	第3章 言葉遣いの基本 1 (日本語の特性、授答8大用語、クッション言葉)							
7~8	第3章 言葉遣いの基本 2							
9~10	第3章 言葉遣いの基本 3							
11~12	手紙の書き方 お礼状・お詫び状							
13~14	第5章 電話応対 1, 2 資料編1 発声練習、2 清舌の練習							
15~16	第5章 電話応対 2, ロールプレイング3							
17~18	第5章 電話応対 3, 4							
19~20	第5章 電話応対 ロールプレイング4							
21~22	第5章 電話応対 5, ロールプレイング5							
23~24	第5章 電話応対 ケーススタディ3							
25~26	第5章 電話応対 6, (クレーム対応)							
27~28	第5章 電話応対 6, (Eメール)							
29~30	前期試験実施							
成績評価方法	<p>1 期末試験 (筆記) と出席率 2 3 4</p>							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎			秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○						優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度								可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								() 内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子		実務経験紹介	https://urbanemi.com/				

科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。 							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本(実践ビジネスマナー)、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画(全体)	教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返して授業を行います。 の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用するのロールプレイングも実施します。				名刺交換			
	社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。							
授業計画(授業単位)	回数/日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録				
	1~2	第4章 来客応対 1, 2						
	3~4	第4章 来客応対 ロールプレイング1						
	5~6	第4章 来客応対 4, ロールプレイング2						
	7~8	第4章 来客応対 5, ケーススタディ1						
	9~10	第4章 来客応対 6						
	11~12	第4章 来客応対 7, 9, 10						
	13~14	第4章 来客応対 8, ケーススタディ2						
	15~16	第6章 訪問のマナー1, ロールプレイング6						
	17~18	第6章 訪問のマナー2						
	19~20	第6章 訪問のマナー ロールプレイング7, 名刺						
	21~22	第6章 訪問のマナー3, 資料編3						
	23~24	資料編4, 5						
	25~26	ビジネス文書						
	27~28	個人情報保護法						
	29~30	後期試験実施						
成績評価方法	1 期末試験(筆記)と出席率 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S(4):90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A(3):80点以上
各種授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子		実務経験紹介	https://urbanemi.com/				

科目名	電話応対 I	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	目標検定 もしもし検定4級に取り組むことで、電話応対の技能を高め、社会に出てすぐに仕事に使える電話応対ができるようにする。							
授業の一般目標	もしもし検定4級に合格する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	受験に足る知識を身につける							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	状況に応じて対応できるための思考がある。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	検定試験受験の必要性を理解し、関心を持って臨んでいる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示している。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができています。							
授業計画 (全体)	もしもし検定4級の筆記試験出題内容に準じてプリント資料、過去問題集を中心に学習する。							
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	マナー①・おしぎ・身だしなみ・立ち居振る舞い							
3~4	マナー②・仕事の基本マナー							
5~6	マナー③・来客と訪問・名刺交換・紹介・席次							
7~8	マナー④・ビジネス文書、FAX、メールの基本							
9~10	マナー⑤・冠婚葬祭・贈答と遺物							
11~12	日本語①・敬語の種類と使い分け基礎編							
13~14	日本語②・敬語の種類と使い分け応用編							
15~16	日本語③・話しことば・語彙力							
17~18	日本語④・聴く・伝える							
19~20	電話応対①・電話応対の基本・かけ方、受け方							
21~22	電話応対②・電話の取り次ぎ・電話応対の言葉・伝言メモ							
23~24	電話応対③・クレーム対応・コミュニケーションツール							
25~26	法的知識・個人情報保護法							
27~28	もしもし検定4級受験							
29~30	検定試験ふり返り							
成績評価方法	1. もしもし検定4級の合否 2. 授業出席状況 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子		実務経験紹介	https://urbanami.com/				

科目名	電話応対Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	目標検定 もしもし検定3級に取り組むことで、電話応対の技能を高め、社会に出てすぐに仕事に使える電話応対ができるようにする。							
授業の一般目標	もしもし検定3級に合格する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	受験に足りる知識を身につける							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	電話の相手の求めに応じて応対できるための思考があるか。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	仕事に使える電和対応技能の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示しているか。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができているか。							
授業計画 (全体)	もしもし検定3級の筆記試験出題内容に準じてプリント資料、過去問題集を中心に学習させる。電話応対の実技試験対策として、過去の問題に取り組み電話応対に慣れ、求めに応じられるよう言葉づかいの幅を広げ、音声表現を向上させる。							
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1~2	日本語おさらい・敬語の種類と使い分け							
3~4	電話応対おさらい・電話応対の基本・かけ方、受け方							
5~6	もしもし検定3級実技試験過去問題							
7~8	もしもし検定3級実技試験過去問題							
9~10	もしもし検定3級実技試験過去問題							
11~12	仕事の基本マナー・来客と訪問・名刺交換・紹介・席次							
13~14	確認テスト【1】							
15~16	確認テスト解説							
17~18	もしもし検定3級実技試験過去問題							
19~20	もしもし検定3級実技試験過去問題							
21~22	もしもし検定3級実技試験過去問題							
23~24	マナーおさらい・ビジネス文書、FAX、メールの基本							
25~26	マナーおさらい・冠婚葬祭・贈答と進物							
27~28	確認テスト【2】							
29~30	もしもし検定3級受験							
成績評価方法	1. もしもし検定3級の合否 2. 授業出席状況 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度							評価なし	可、C (1) : 60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子			実務経験紹介	https://urbanemi.com/			

科目名	色彩理論Ⅰ	単位数	2	科目コード					
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年前期				
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	○				
授業概要（目的・目標とする資格・検定）	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。								
授業の一般目標									
受講条件									
事前学習について（テキスト・参考書等）	色彩検定「公式テキスト」3級 過去問題集2018年度2・3級 新編カラーと心								
授業の到達目標									
① 知識・理解の観点	PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。								
② 思考・判断の観点	配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。								
③ 関心・意欲の観点	色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。								
④ 態度の観点									
⑤ 技能・表現の観点									
授業計画（全体）	色彩技能検定3級合格を目指す。公式テキストの内容を理解する。日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。								
授業計画（授業単位）	回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
	1～4	色の三属性 カラーカード分け							
	5～8	色の三属性							
	9～12	PCCS							
	13～16	PCCS、色相環							
	17～20	PCCSトーン							
	21～24	色彩心理、グループワーク							
	25～28	色彩心理、商品パッケージ分析							
	29～32	光と色 眼の構造							
	33～35	光と色 照明							
	37～40	混色ワーク 混色例							
	41～44	対比、同化							
	45～48	配色、配色ワーク、3色配色 作品作成							
	49～52	ファッションカラー、ファッションカラー配色 作品作成							
	53～56	インテリア							
	57～60	模擬試験							
成績評価方法	(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。 (2)グループワークでまとめたレポートを発表。 (3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。 (4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。								
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		◎	○					50	秀、S(4)：90点以上
小テスト		◎	○					20	優、A(3)：80点以上
宿題授業外レポート									良、B(2)：70点以上
授業態度				○				10	可、C(1)：60点以上
発表・作品		◎	○			○		20	不可、E(0)：59点未満
演習									未修得、履修放棄、F
出席				○					()内はGPA点数
担当教員	田村 絵里子		実務経験紹介		https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab				

科目名	色彩理論Ⅱ	単位数	2	科目コード					
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期				
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	○				
授業の目的、目標とする資格・検定等	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。								
授業の一般目標									
受講条件									
単前学習について（テキスト・参考書等）	色の科学 色とデザイン（2018年度2・3編） 過去問題集2018年度2・3編 配色カラー100								
授業の到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点 PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点 配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。 <input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。 <input type="checkbox"/> 態度の観点 <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。								
授業計画（授業単位）	回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
	1~4	色の三属性 カラーカード分け							
	5~8	色の三属性							
	9~12	PCCS							
	13~16	PCCS、色相環							
	17~20	PCCSトーン							
	21~24	色彩心理、グループワーク							
	25~28	色彩心理、商品パッケージ分析							
	29~32	光と色 眼の構造							
	33~36	光と色 照明							
	37~40	混色ワーク 混色例							
	41~44	対比、同化							
	45~48	配色、配色ワーク、3色配色 作品作成							
	49~52	ファッションカラー、ファッションカラー配色 作品作成							
	53~56	インテリア							
	57~60	模擬試験							
成績評価方法	(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。 (2)グループワークでまとめたレポートを発表。 (3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。 (4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。								
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		◎	○					50	※ S (4) : 90点以上 優、A (3) : 80点以上 良、B (2) : 70点以上 可、C (1) : 60点以上 不可、E (0) : 59点未満 未修得、履修放棄、F () 内はGPA点数
小テスト		◎	○					20	
宿題授業外レポート								10	
授業態度								20	
発表・作品		◎	○			○		評価なし	
満席								評価なし	
出席				○				欠格条件	
担当教員	田村 絵里子		実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/paie1ilac-colorlab					

科目名	PBL I	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期	通年	教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。							
授業の一般目標	グループワークでのプロジェクトの進め方、デザイン思考を身に付ける。							
受講条件	なし							
事前学習について(テ キスト・参考書等)	なし							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか							
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~4	オリエンテーション・アイデアワークショップ①							
5~8	アイデアワークショップ②							
9~12	チームビルディング・デザイン思考①着想							
13~20	デザイン思考②発案							
21~40	デザイン思考③プロトタイプング・テスト							
41~44	成果発表							
45~60	COG導入							
成績評価方法	1 授業内で下記観点から評価を行う。 2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S(4):90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度			○	○			20	可、C(1):60点以上
発表・作品	○	◎			◎		60	不可、E(0):59点未満
演習	○	◎	○				20	未修得、履修放棄、F
出席								()内はGPA点数
担当教員	吉田 昌榮 他		実務経験紹介	山口県中小企業家同友会との連携授業				

科目名	PBLⅡ	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生後期			
受講条件	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)								
授業の一般目標	COGに参加し、地域課題の解決につながるアイデアを提案する。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	なし							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力自治体の状況について正しく理解できたか							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力自治体の課題を解決しうる提案ができたか							
授業計画 (全体)								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~8	COG着想							
9~12	中間プレゼン①・COG発表①							
13~20	COG発表②							
21~24	中間プレゼン②・COGプロトタイプング・テスト①							
25~32	COGプロトタイプング・テスト②							
33~36	中間プレゼン③・COGプロトタイプング・テスト③							
37~44	COGプロトタイプング・テスト④							
45~48	COG応募							
49~56	COG発表：次年度前期の実現に向けて							
57~60	最終成果発表							
成績評価方法	1 授業内で下記観点から評価を行う。 2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S (4) : 90点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度			○	○			20	可、C (1) : 60点以上
発表・作品	○	◎			◎		60	不可、E (0) : 59点未満
出席	○	◎	○				20	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	() 内はGPA点数
担当教員	吉田 昌榮 他		実務経験紹介	山口県中小企業家同友会との連携授業				

科目名	ビジネス実践 I	単位数	6	科目コード					
授業形態	講義・演習	時間数	90	開設期	1年生後期				
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○				
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	ネット通販の需要の拡大とともに、eコマース（ECまたは電子商取引）市場が急成長し、幅広い業種でのECの活用が進んでいるが、数多くの企業でECの実務に携わることのできる人材の不足が指摘されている。本科目では、ネットショップ経営を熟知しているYahoo! JAPANの講師陣の講義を通じて、Yahoo!ショッピングへのネットショップの「開設」から「販売」・「集客」までの運営にあたり、必要な基礎的かつ実務的な知識を習得することを目標とする。								
授業の一般目標	(1)チームでのコミュニケーション方法の理解と実践ができる。 (2)お客様、取り扱い企業とのコミュニケーションの理解と実践ができる (3)ネットショップの運営ができる								
受講条件									
履前学習について（テキスト・参考書等）	サイバー大学 コンテンツ、Yahoo!ショッピング 出店&運営 成功するコレだけ! 技（技術評論社）								
授業の到達目標	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点 1. ネットショップの運営について説明できる。 2. 教育の各領域の概要と課題を説明できる。								
	<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点 1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。								
	<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 1. ネットショップに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。								
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点 1. 日常生活の中でネットショップについて主体的に考えることができる。								
	<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	eコマースについて理解を深めた後、Yahoo!ショッピングへのネットショップの「開設」から「販売」・「集客」までの運営にあたり、必要な基礎的かつ実務的な知識を習得する。同時に、学生ネットショップを実運営し、学んだ知識を生かして、体験する								
授業計画（授業単位）	回数/日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
	1-3	eコマース入門							
	4-6	Yahoo!ショッピングについて							
	7-9	Yahoo!ショッピングのページとストアのページ							
	10-12	Yahoo!ショッピングで自分のストアを作ってみよう							
	13-15	ページのカスタマイズをしてみよう							
	16-18	安心して購入いただくために							
	19-21	お客様からの注文を受け付ける							
	22-24	注文後のご要望への対応とストア分析							
	25-27	統計情報を使いこなす							
	28-30	販促メールをお客様に送る							
	31-33	売上高アップの方法とアクセス制限管理							
	34-36	マーケティングとは？							
	37-39	ウェブマーケティング概論							
	40-42	ウェブマーケティング実践							
	43-45	総括							
成績評価方法	(1)サイバー大学コンテンツを活用し授業の中で小テスト、授業内レポートを数回行う。 (2)成果発表会にて、取り組んだ内容について、プレゼンし、審査を受ける (3)以上を下記の観点・割合で評価する。								
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		◎	○					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト		◎	○	◎				20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート			◎	○	◎			10	良、B（2）：70点以上
授業態度				○				10	可、C（1）：60点以上
発表・作品		◎		◎	◎			50	不可、E（0）：59点未満
演習								評価なし	未修得、履修放棄、F
出席				○				欠格条件	()内はGPA点数